

事務事業名	庁舎(本庁部局)管理事業	所属部	総務部	所属課	管財課			
総 計 画 体 系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉	所属G	財産管理監視G	課長名 井上芳樹			
	施策名	(05)時代にあった行政サービスの実現	担当者名	上代真一	電話番号 0854-40-1025 (内線) 2372			
	目的 対 象	行政機能 意 図 公平で効率的なサービスを提供する。	予算科目	会計	款	大 事 業	大 事 業 名	02総務管理事業
	基本事業名	(016)公共施設の適正管理		0 1 1 0			中 事 業 名	03市有施設等管理事業
目的 対 象	行政機能 意 図 公共施設を適正に管理する。		項	目		中 事 業 名	01総務管理事業	
				0 5			02庁舎管理事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
本庁舎、里方分庁舎、旧議会棟、旧庁舎(分庁舎、分庁舎別棟)、旧市役所職員駐車場内車庫に係る施設維持・修繕及び管理業務

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) 本庁舎、里方分庁舎、旧議会棟、旧庁舎(分庁舎、分庁舎別棟)、旧市役所職員駐車場内車庫に係る施設維持・修繕及び管理業務 元年度計画(元年度に計画する主な活動) 本庁舎、里方分庁舎、旧議会棟、旧庁舎(分庁舎、分庁舎別棟)、旧市役所職員駐車場内車庫に係る施設維持・修繕及び管理業務					
② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
ア	施設の数	ヶ所	7	6	6	6
イ	維持管理経費	千円	78,642	66,542	68,073	65,087
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	庁舎	ア	施設数	棟	7	6	6	6
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)		
①事務に支障が生じないように維持する ②各種施設の維持及び修繕を図る ③維持管理経費の節減に努める	ア	光熱水費	千円	12,259.0	13,268.0	14,672.0	14,288.0	
	イ	委託料	千円	35,190	37,841	37,475	37,809	
	ウ	修繕費	千円	906	538	1,805	0	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
①庁舎管理事業 57,409千円 消耗品費 463千円 燃料費 1,085千円 光熱水費 14,672千円 修繕費 1,805千円 手数料 372千円 委託料 37,475千円 使用料 531千円 備品購入費 1,006千円 ②総務管理事業 10,664千円 旅費 28千円 消耗品費 3,773千円 通信運搬費 5,331千円 使用料 177千円 賃借料 1,355千円 ①+② 合計 68,073千円	財 源 内 訳	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円	2,794 75,848	3,161 63,381	3,706 64,367	3,313 61,774
	事業費計 (A)	千円	78,642	66,542	68,073	65,087
	人 件 費	正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計 (B) 千円	4 2,209 8,763	4 1,499 6,111	4 1,500 6,498	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	87,405	72,653	74,571	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
本庁舎の完成により、その環境は大きく改善されたが、依然として老朽化した施設があることから維持管理費は増加している。	省エネルギー、省資源に配慮した環境にやさしい本庁舎を平成27年度に建設した。	本庁舎において、空調管理や備品購入について要望がある。

事務事業名	庁舎(本庁部局)管理事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合 →
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合 →
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合 →
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 老朽化した施設については、長寿命化等による向上余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 行政サービスを提供する場として、庁舎を利用する以上、廃止・休止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 総合センター管理事業が類似事業であるが、迅速かつ適切な対応が求められることから、統廃合はできない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 本庁舎は、換気・空気設備により状況に応じた運転やデマンド管理により、光熱水費の経費節減に努めているが、急激な気象変化に伴う温度変化への対応には苦慮している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 庁舎警備や各設備の保守点検等は既に外部委託により対応している。また、最低限の人員で対応している。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 庁舎の維持・管理業務は市全体に対する行政サービス供給の前提条件となっている。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	引き続き庁舎が安全で快適に利用できるよう維持管理を行う。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
各施設を今後も適切管理に努めることにより経費節減を図っていく。また、老朽化施設については、長寿命化等の検討が必要である。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																							